



FMMC

最新研究報告会

参加費
無料

開催日時

2023年

4月7日 [金]

14:00~16:30 (オンライン開催)

当財団では、ICT分野における政策・制度の整備、最新技術の発展、社会での利活用の視点から調査研究を実施し、毎年その成果を公開しています。今年度は、以下の通り、最新研究報告会をオンライン開催します。ぜひご参加ください。

参加申込
(無料)

URLからお申し込みください。[4月5日(水)まで]

<https://www.fmmc.or.jp/activities/seminar/RC202303.html>

※視聴用URL等の詳細を、お申込みいただいた方に開催前日までにメールにてお送りいたします。



5G/6G時代を見据えた仮想空間活用サービスの最新動向 -メタバース、デジタルツインなど諸外国の取組みを中心に

5G商用化後、メタバースやデジタルツインといった仮想空間活用サービスへの期待が高まる中、米英中韓印における主要通信事業者、大手IT企業が展開するメタバースやデジタルツインの事例及び関連政策を比較分析し、各国の今後を展望すると同時に日本政府ならびにビジネス業界への参考材料を提示する。



裘 春暉
シニア・
リサーチャー



三澤 かわり
シニア・
リサーチディレクター



藍澤 志津
リサーチディレクター



米谷 南海
チーフ・
リサーチャー

クリエイターエコノミーに関する 動向調査 (前編)

コンテンツの制作主体がメディア企業からクリエイターへ移行し、すべての人々がクリエイターかつ消費者となる双方向性の経済圏「クリエイターエコノミー (CE)」が立ち上がって来ている中、CEに至るメディア・コンテンツ産業の変遷を明らかにするとともに、国内外の市場構造を比較検討し、収益化を模索するクリエイターや日本のプラットフォームへの示唆を得る。



五十嵐 輝
リサーチャー

DX阻害要因の検討と今後のデジタルプラットフォーム (DPF) への展望

世界各国で進展しているデジタルトランスフォーメーション (DX) について、国内外の事例分析やインタビュー調査等を実施し、これまで指摘されている以外のDXの阻害要因や促進要因を明らかにすることで、わが国のDXの現状を多面的に把握し、今後のDX政策に資する示唆を得る。



上田 昌史
シニア・
リサーチャー

2030年放送制度論考 - 社会的共通資本としてのメディアのあり方 (前編)

2030年 (5G・6G時代) における放送産業の構造変化 (ハード・ソフトの分離、5Gによる放送網の補完、地上波とネットの一体運用等) が想定される中、基幹放送の存在意義、持続可能な放送インフラの運用のあり方、地上波番組のインターネット配信を巡る動き等について、海外の事例を踏まえながら日本の放送の未来を展望する。



飯塚 留美
シニア・
リサーチディレクター



中邑 雅俊
リサーチディレクター



ウェドゥラオゴ
イセン アジズ
リサーチャー

お問合せ

一般財団法人 マルチメディア振興センター
forum@fmmc.or.jp (担当: 木賊(とくさ)、五十嵐)

右記QRコードより、
リサーチャーの情報を
詳しく紹介しています。▶

